

東京浅草中央ロータリークラブ

【週報】平成18年5月31日発信

第990回例会 第976号

会長:中村 義英 副会長:長沼 一雄 幹事:片岡 邦夫 会報委員長:藤野 勝彦

<2005-2006年度テーマ>

・超我の奉仕 ・超我の奉仕 ・20周年を迎えて、更に大きく『愛』の輪を	RI会長 カール・ウィルヘルム・ステンハマー 2580地区ガバナー 古宮 誠一 クラブ会長 中村 義英
今日の卓話 「福祉と宗教」 淑徳大学学長・立正大学名誉教授 長谷川 匡 俊 様 紹介者:植木 榮 君	◎次回卓話予定(6月7日) 「俳句の話」 俳 人 奈良 文 夫 様 紹介者:上原洋一君

<6月の卓話予定表>

6月7日	「俳句の話」	俳 人	奈良文夫 様
14日	「M&Aの話」	(株)日本M&Aセンター	副部長 福井 順 様
21日	<クラブ協議会>	次年度事業計画発表	
28日	夜間例会	「一年を振り返って」	中村義英 会長、片岡邦夫 幹事

[平成18年5月24日 第989例会の記録]

【会長報告】<中村会長>

・三社祭は大変な好天に恵まれてまして、盛大に無魔演上にされましたこと心よりお慶び申し上げます。
私も観音裏の方でおこぼれに預らせていただきました。二、三日前の新聞に今年の日照は全国的に少なく特に東京は例年の半分程度の日照しかないと報道されていました。今日も朝は素晴らしい天気でしたが、午後から天気が崩れ、先程は季節外れのものすごい雷でした。二、三年前からの天候不順は大自然が私達の自然破壊に対する何らかの警告をしているのかも知れません。「環境を考え、未来を守るロータリー」と言う事で「友」のインターネットに速報でご紹介します。高まる環境危機に取り組む必要性を認識し、1990年に国際ロータリー(RI)は「環境保全計画」を立ち上げました。ウィリアム・ボイドRI会長エレクトは土地の侵食を管理する役目となる自生樹木の生長と植林を促す「New Zealand's Trees for Survival Trust」の理事を務めております。この組織は、1991年にニュージーランドのパ克蘭ガロータリークラブによって創設され、それ以来発展を遂げています。その他、多くのクラブは森林再生、動物環境保護地区の設置、有害廃棄物の減少、教育活動の提唱、および環境保全活動を推進することによって環境問題の解決に役立っています。

【幹事報告】<片岡幹事>

・手帳型の会員名簿を更新いたします。変更のある方は本日この手帳型名簿を回覧いたしますので、その部分を赤で訂正して下さい。新入会員候補に関原光治(セキハラミツル)さんの推薦がありましたので、異議のある方は幹事までお申しください。6月より、ロータリーレートが1ドル=110円に変更になります。江戸川・江戸川中央・臨海東・東京臨海の各ロータリー例会場が7月より変更になりますので、メイクアップをする方は事務室でお調べの上お出かけください。

【ポール・ハリス・フェローの認証状が届いております】

ポール・ハリス・フェロー <岩田君・潮田君・宮村君・伊石君>
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー<1回目 長堀君・松本君・尾泉君・中村君>
2回目 <小林博君・海内君> 3回目 <上原君>

【社会奉仕委員会】吉沼委員長

・“隅田公園花の名所作り事業”の一環としてアジサイの植樹式が、6月17日午前10時より墨田公園で行われます。終了後に全員で植付けを行いますので皆様の出席をお願いします。これは「みどりの基金」300万円の内、20周年記念という事で。特別に200万を取り崩して行うものです。

【親睦活動委員会】潮田委員

・本日の2次会のご案内をさせていただきます。28Fベルベデールにて会費2千円で行います。ご出席されるかたはお手を挙げて頂けますか。<13人出席>

来訪者数	例会出席報告	会員出席率
ゲスト2名 ビジター 0名	第989例会	総数49名, 出席32名, 欠席14名, 出席率 68.09%
	第987例会	修正変更/0名欠席 出席率100%(免除 2名)

ニコニコボックス

■原田君 本日卓話をして頂く南水蓮様をご紹介致します。空前の占いブームですが、南先生の鑑定はスゴイです。皆さん楽しみにして下さい。

■松崎・矢野君 皆様のお陰をもちまして、盛大に三社祭を斎行することが出来ました。御礼申し上げます。

■松崎君 三社祭恒例大行列残念ながら中止となりました。社殿にてビンザサラ舞奉納無事終わりました。植木さん、永井さん、お骨折り頂き感謝致します。

■矢野君 松崎総代、三社祭期間中、多々不手際があり誠に申し訳ありませんでした。今後同じ誤ち起こさない様、潮田事務局長と共に邁進します。

■永井・片岡・植木君 松崎さん、矢野さん、氏子の皆さん、三社祭無事終了しました。お疲れ様でした。

■柿沼・遠藤・斎藤・中村・井田・山尾君 三社祭、矢野さん大変お疲れ様でした。

■古谷君 カナダのトロントからバンクーバーまで世界で2番目に長い鉄道の旅をして来ました。3泊4日75時間かかり家内はもう2度と貴方の趣味には付き合えないとっております。

■大塚君 永井さん、先日は大変お世話になりました。奥様に宜しくお伝えください。

■吉田君 7人目の孫も女の子でした。親子共元気です。

■今期・次期親睦活動委員会 以前、行われた親睦活動委員会の引継ぎの残金があったのを思い出しました。本日ニコニコします。

【卓話】

「癒しの瞑想」

スートラ鑑定学「南の会」

代表 南 水蓮



今日、さまざまな占術や運命鑑定学と呼ばれるものが人々の間で親しまれています。しかし、その中で東洋思想の真髄といわれる仏教思想を根本にしているものが見当たらないのは意外です。その殆どは、西洋の占星術（十二星座占い）や中国から伝えられてきた四柱推命学などの易学を基本にしています。これらの伝統的な運命鑑定学はその不思議な中率から、さまざまな形で根強く私たちの生活の中で親しまれています。これらの運命

鑑定学は宇宙に存在する不思議なバイオリズムや法則性を敬い、これを知る事で私たちの生活を実り多きものにしようとするものですが、それを可能にしていく主体者は何処迄も私達一人ひとりであることに間違いありません。その意味で、時空間を越えて人間の生き方そのものを追求した仏教の視点から、運命鑑定をツールとして使いこなしていく事が出来れば、こんな素晴らしい事はないと思っています。

私は、何故仏教の優れた知恵がこれらの運命鑑定学の中で見られないのだろうかという素朴な疑問を長い間抱いてきました。相対性理論で知られるアインシュタインは、現代科学と矛盾しないのは仏教哲学であるとまで言い切っているのです。ところが仏教の持つイメージといえば、神秘的なベールに包まれた仏教や出家僧といった一種の暗さと世俗を離れたもので、現代人の心を掴みきれずにいる感がします。これはおそらく膨大な經典の数とその内容の難解さにしているのかもしれませんが。仏教は運命固定論でもなく、論理を無視した根拠の無い「通力」主義でもありません。あくまでも自分を真摯に見つめ、たゆまぬ創造と自己実現を目指すことに最高の価値とゆるぎない福運が築かれていく事を説いています。こういった仏教の生命観を運命鑑定学の基礎として甦らすことができれば、占術や運命鑑定も私たちの人生において少しでもお役に立てれば幸いに存じます。

今回はスートラ運命鑑定学の中の一つ「人生のバイオリズム」＝個人の運命周期について皆様にお伝えし、これからの生活の実践法として、更に深い意味と意義を持ってきます。これがスートラ運命鑑定学の考え方です。